



理事長 真田光彦

ごあいさつ

平素は格別のご愛顧とご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。

ここに当金庫の第79期の事業概況ならびに決算状況をご報告申し上げます。

2022年度の日本経済は、ウクライナ情勢や資源・穀物価格上昇などの影響により物価が上昇する中で、「ウィズ・コロナ」への移行により個人消費が持ち直し、緩やかな回復傾向となりました。

先行きについては、インバウンド需要や「ウィズ・コロナ」の一段の進展によりサービス消費が回復し、経済レベルは徐々に引き上げられていくことが見込まれますが、一方で世界的なインフレ圧力や各国中央銀行の利上げの影響など内外経済を下振れさせるリスクには十分注意する必要があります。

2022年度は、「かわしん『支援力の強化と変革からの挑戦』3か年計画」の2年目に当たり、お客さまと共に豊かな地域の未来を創り上げ、地域金融機関としての強固な経営基盤と確固たる地歩を確立するための諸施策を進めてまいりました。

その結果、業容面では、預積金の期末残高は8,645億円、貸出金は4,073億円となりました。

収益面では、業務純益は1,461百万円、経常利益は1,717百万円、当期純利益は1,186百万円を計上し、自己資本比率は10.90%、不良債権比率は2.26%となりました。

当金庫は、昨年12月に、地域の魅力ある商品の商品開発、販路開拓、マーケティング等に取り組むことを目的とした子会社「地域商社みかわ株式会社」を設立しました。同商社を通じて更に地域経済への貢献に積極的に取り組み、今後も役職員一丸となり、地域と共に持続的に成長する信用金庫を目指してまいりますので、今後とも皆さまのご愛顧とご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年7月

理事長 真田光彦